

事務事業評価シート

評価年度	平成29年度	対象事業年度	平成28年度
------	--------	--------	--------

所属・担当者氏名	市民部 まちづくり振興室 産業振興課 農業振興係 宮田 裕行	評価責任者 (担当課長)	産業振興課長 吉岡 昭人
----------	--------------------------------	-----------------	--------------

1. 事務事業の種類

① 事務事業の名称	農産物品評会		② 整理番号	03010404-001
③ 第4次総合計画の施策の体系	章	元気にぎわいのまちづくり		
	節	特性を活かした地域づくり		
	項	農業の振興		
	号	都市農村交流等の推進		
④ 関連する個別計画	なし		⑥ 事務の種類	自治事務
⑤ 根拠法令・条例等	なし			

2. 事務事業の概要

① 目的 (何のために)	・農産意欲と生きがいの促進 ・市内農産物のPRと都市住民との交流 ・農産物の展示即売等により、本市で生産される農産物に対する理解と認識を高め、品質及び生産性の向上
② 対象 (誰・何を対象として)	市内在住在勤者であって、市内の農地で農産物を生産する者
③ 手段 (どのようなやり方で)	・平成元年より大和高田市内の農家を対象に地場産農産物を出品してもらい、優秀な農産物を表彰する。 ・出品物は、数量・規格どおりに生産者が直接会場へ搬入し、一般の観覧終了後、米を除いた全品を即売する。 ・審査の結果、優秀な農産物に対し、賞状・賞品を贈呈する。
④ 成果 (どのような効果を得ようとしているのか)	都市住民と交流の場として、食の安全・安心、地産池消など消費者重視の農業に対する意識向上を図る。

3. 投入された年間総事業費及び人件費の推移 ※概算人件費は「人件費計算シート」による (単位：千円、人)

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度
① 直接事業費	760		760		760		773		(予算) 834
② 概算人件費	(0.00)	2,022	(0.00)	1,987	(0.00)	1,994	(0.00)	1,849	
一般職員(職員数)	1,952		1,917		1,924		1,779		
嘱託職員(職員数)									
臨時職員(職員数)	70		70		70		70		
③ 合 計 (① + ②)	2,782		2,747		2,754		2,622		0
④ 特定財源 (国・県支出金、市債など)	0		0		0		0		
⑤ 一般財源 (③ - ④)	2,782		2,747		2,754		2,622		0

4. 評価指標

種類	指 標 名	指標の算出方法等	実 績 値			
			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
活動 指標	① 開催回数	年間開催回数	1回(2日間)	1回(2日間)	1回(2日間)	1回(2日間)
	②					
成果 指標	① 参加者数(割合)	品評会参加者／人口	21.1 %	22.0 %	22.2 %	22.9 %
	②					
効率 指標	① 参加者1人当たりのコスト	事業費／品評会参加者	296 円	183 円	184 円	175 円
	②					

5. 項目別評価

評 価 の 視 点	3段階 評 価	評 価 の 根 拠
①妥当性 (目的及び市の関与は妥当ですか)	A	農家の生産意欲と生きがいの促進を行うとともに、市内農産物のPRと都市住民との交流の場として、農産物品評会を開催することが妥当である。
②有効性 (成果は向上していますか、向上していない場合向上のために改善の余地はありますか)	A	出品数・参加人数は、年々上昇傾向にあり、効果は上がっている。
③効率性 (コスト・受益者負担は適切ですか、不適切な場合改善の余地はありますか)	A	平成17年度以降は、地場産フェアと共同で行っていることにより、参加者1人当たりのコストをそれまでの約半分以下としていることから、効果的である。

6. 今後の方向性 A 現状のまま継続、B 見直し（重点化、縮小、統合など）のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

判 定	具体的な改善・見直しの内容（「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。）
A	☐ 人件費の重点化 ☐ 予算の重点化 ☐ 事業の縮小 ☐ 事業の統合 ☐ 実施内容の変更 ☐ その他

7. 2次評価 A 現状のまま継続、B 見直し（重点化、縮小、統合など）のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

判 定	具体的な改善内容・改善計画（「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。）